

2026年度名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程 名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻 学生募集要項 (2026年4月入学)

概要

名古屋大学大学院工学研究科では、マテリアル工学分野における国際的リーダーとなりうる博士人材を育成するため、チュラロンコン大学と共同で、一つの大学だけでは提供できない魅力ある新たな教育プログラムを構築した。このジョイント・ディグリー・プログラムでは、国際的な研究者である両大学の教員から指導を受けながら、マテリアル工学分野における最先端の国際的共同研究、高度専門基礎知識を修得するためのセミナー及び産業界の専門家から SDGs の達成を実現するための材料・エネルギー技術や材料・エネルギー循環技術に関してケーススタディを交えて学ぶ科目を両大学で開講し、産業界との連携とそのための人材育成を行う。

修了者には、当該学生の能力の高さを世界標準で保証すべく、2大学連名で単一の学位「博士(工学)」(英語は Doctor of Philosophy)を授与する。

なお、この専攻の教育課程期間は3年間を標準とし、学生は原則として2年次の1年間、チュラロンコン大学に滞在し、研究を行う。

主な研究分野

マテリアル工学 国際目標である SDGs の達成を目指した材料・エネルギー技術や材料・エネルギー循環技術の開発とそのメカニズム解明するための材料設計、プロセス、実用システムと材料・エネルギー循環について、基礎研究からプロセス、社会実装までのものづくりに関する研究を行う研究分野。

アドミッション・ポリシー

創造的な研究活動によって真理を探究する知的好奇心に満ち、工学・材料科学分野に関連する基本的な知識と理解力を備える一方で、多様な文化・環境への高い関心と適応力を持ち合わせた人材を求める。環境・文化の異なる2つの大学で共同学位の取得を強く希望し、将来は材料開発、環境・エネルギー分野での専門性を活かし、グローバル社会を牽引し、世界を場に活躍するリーダー的人材になるなどのビジョンを持つ者が望ましい。

ディプロマ・ポリシー

所定の修業年数である3年以上在学し、設定された教育プログラムを履修の上、研究指導を受け、日本の法令及び本学で規定された修了要件を満たすほか、タイの法令及びチュラロンコン大学で規定された修了要件を満たすことで、博士(工学)の学位が授与される。本専攻では、以下のとおり、チュラロンコン大学との協議で合意したディプロマ・ポリシーを定め、マテリアル工学の高度専門知識とそれを応用する能力を持ち、国際的な学术界と産業界との橋渡しを実現することで人類の持続可能な発展に貢献する能力を有する学生に学位を授与する。

- ・ 自然科学分野の深く多様な学問的素養と高い研究推進能力を体得した証として、課程で学び、得た学問的成果を体系的に論じた学位論文を書き上げること。
- ・ 高い倫理性や豊かな国際性、科学的論理性や創造力を身に付け、国際的な共同事業や共同研究を推進できることの証明として、両大学の教員等により組織される合同学位審査委員会が審査を行い、最終口頭試問を経て合格と判定されること。

カリキュラム・ポリシー

我が国とタイ王国の大学の最先端工学教育や製造業を中心とする産業における専門的工学教育のグローバル化を見据え、高度な学術研究を基盤とした教育を展開するとともに、狭い範囲の研究領域ばかりでなく、幅広く高度な知識・能力を身につける。

本専攻では、学位授与に要求される知識・能力、及びリサーチマインドを有する国際性豊かな高度専門研究開発人材に求められる、より高度な専門知識・技術及びリーダーシップ・国際性を修得するために、両大学の合意に基づき、以下に示した方針でカリキュラムを編成する。

- 1)英語を共通語としたコミュニケーションを円滑に行うことのできる語学能力及びグローバルな視点の獲得を目指し、授業は日本・タイ両国でそれぞれ一定期間履修することを原則とし、日本・タイ両国の教員による英語を用いた指導を行う。
- 2)最新の知見のレビューに基づく工学系、特に材料・環境・エネルギー分野における世界的な動向の把握と、両国における工学並びに産業の背景や実情の学習を通じて、国際的に通用するための総合的で論理的に思考する能力を獲得することを目指した指導を行う。
- 3)講義科目により得た知識・能力などを実社会で実践していくためのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を獲得するため、日本・タイ両国において研究を行い、さらに両国の教員・学生の合同によるセミナーを行う。
- 4)様々な文化的背景を持つ地域に根ざして実社会の課題を読み解く能力を獲得し、そこから独創的で新しい発想へと展開させることを目指し、互いに相手国で一定期間居住し、異文化において生活しながら履修する。
- 5)大学で得られた研究成果を産業界へ展開する能力を修得させるため、産業界で求められる応用展開事例や生産技術を学ぶための講義・実習を設ける。
- 6)材料・環境・エネルギー系専門分野に関する特定の研究課題について、主体的な研究活動において科学的根拠に基づいた独創性・実践性の高い論文を作成できるよう両大学で指導を行う。

◇自然災害等の不測の事態が発生した場合の諸連絡

自然災害等に伴い、試験日程や選抜内容等に変更が生じる場合があります。この場合、次のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○工学研究科ホームページ <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

◇安全保障輸出管理に係る手続きについて

名古屋大学(東海国立大学機構)では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」(以下「規程」という。)を定め、貨物の輸出、技術の提供(人の受入を含む)について厳格な審査を実施しております。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご注意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。 <https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

- * 日本国籍の方を含めて、出願者全員「類型該当性の自己申告書」の提出が必要になります。
- * 類型に該当する対象者については、該当性を判断する根拠となるエビデンス資料について出願書類とあわせてご提出ください。
- * 一部の学生においては、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

※出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めません。

1. 出願資格

次の各項目のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

2. 募集人員

若干名

3. 願書受付期間

2026年1月13日(火)～1月16日(金)消印有効

受付期間最終日までの消印を有効とする。

なお、海外から出願書類を郵送する場合、1月16日(金)必着とする。(消印は考慮しない。)

※海外から郵送する際には、出願期間前に工学部教務課入学試験係まで事前連絡を行うこと。

4. 出願書類

入学志願票等の所定用紙は、以下の本研究科ホームページからダウンロードし、A4判用紙に片面カラー印刷のうえ、特に指定のない限り、英語で記入すること。

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php>

【出願書類記入上の注意】

- ▶ 出願書類は、拡大・縮小はおこなわずにA4判用紙で白い用紙に印刷すること。
- ▶ 出願書類は、特に指定のない場合を除いて、英語で記入すること。
- ▶ 記入に当たっては、文字は楷書、数字はアラビア数字、英字は活字体で、正確・明瞭に黒のボールペンで記入すること。消せるボールペンは使用しないこと。
- ▶ 訂正を行う場合は、二本線で取り消し、再度余白部分に記入すること。修正液等は使用しない。

	出願書類等	注意事項
1	進学・入学志願票、 受験票、写真票 (所定用紙)	本研究科ホームページから所定用紙を印刷し、必要事項を記入の上、写真票に写真(3か月以内に撮影したもの)を貼ること。 受験票は、出願期間締切後、郵送または電子メールで本人に交付する。試験日1週間前までに届かない場合は、教務課入学試験係に連絡すること。 ・志願票の職歴欄は、職歴なしの場合は、“None”と記入すること。 ・大学に編入学した者は、志願票の職歴欄に編入学前の学歴を記入すること。

2	学部及び修士課程(博士前期課程)における学業成績証明書(原本)	学部及び修士課程(博士前期課程)双方の学業成績証明書を提出すること。 -本学工学研究科(正規課程)に在籍中の者は提出不要。ただし、学部の学業成績証明書は必須である。 -高等専門学校専攻科修了者は、専攻科の成績証明書を提出すること。ただし、高等専門学校から大学に編入学した者は、高等専門学校の成績証明書は不要。 -日本語または英語で作成されたものを提出すること。 日本語または英語以外で作成されている場合は、英語の訳文を添付すること。 自身で翻訳する場合には、日付を記載し、自筆署名すること。 -留学生で本学部(本研究科)の研究生は、研究生入学時に証明書原本(紙面に限り、見込証明書は不可)を提出済みの場合は再提出不要。
3	修士の学位又は専門職学位を授与された者(又は見込み)であることの証明書(原本)	-日本語または英語で作成されたものを提出のこと。 -日本語または英語以外で作成されている場合は、英語の訳文を添付すること。 -自身で翻訳する場合には、日付を記載し、自筆署名すること。 -本学工学研究科(正規課程)に在籍中の者は提出不要。 -留学生で本学部(本研究科)の研究生は、研究生入学時に証明書原本(紙面に限り、見込証明書は不可)を提出済みの場合は再提出不要。
4	修士論文の概要又は研究経過の概要(所定用紙)	本学工学研究科ホームページから所定用紙を印刷し、修士論文の概要又は研究経過の概要を英語1,000語程度で提出すること。 パソコンで作成する場合は、本研究科ホームページ掲載の様式にならない、1行40字程度で作成すること。
5	下記条件を満たすいずれかの英語検定試験公式スコアシート(原本) ・TOEFL iBT: 45点以上 ・IELTS: バンドスコア 4.0 以上 ・TOEIC 公開テスト Listening & Reading 600点以上 ※出願開始日から過去2年以内に実施された検定試験のスコアのみ有効とする。 ※最終学歴において、英語を主要言語として修了した者は、英語検定試験公式スコアシートに代えてそのことを示す書類を提出できる。	左記の条件を満たす英語検定試験いずれかひとつの公式スコアシートを提出すること。詳細は下記のとおり。 【TOEIC のスコアシートについて】 TOEIC のスコアシートは、TOEIC Listing & Reading Test の原本(Official Score Certificate)に限る。(ただし、「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」及び「Certificate of Achievement」の両方を提出することで原本の提出があったものとする。) 「団体特別受験制度(IP: Institutional Program)」のスコアは受け付けない。顔写真の載っていないスコアシートは原則として受け付けない。(ただし、「Official Score Certificate」を発行していない国の場合は、「Official Score Report」に顔写真が載っていない場合でも受け付ける。)一度提出したスコアシートの差し替えや写しの返却には応じられない。 【TOEFLのスコアシートについて】 TOEFL のスコアシートは、以下の①と②の両方を提出すること。 ①公式スコア「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」 ②受験者に届く「Test Taker Score Report(コピー)」 なお、スコアシートを提出する際は、以下の点に留意すること。 ☆「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」は、出願期間最終日まで ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学の Institution Code D377, Department Code 69 Engineering otherを指定すること。)なお、TOEFL の受験後「Institutional Score Report」又は「Official Score Report」が指定送付先に到着するまでに6~8週間程度かかることとされている。到着が遅れる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って TOEFL を受験すること。

		<p>◇ 「Institutional Score Report」を提出する場合は、「Test Date Scores」のみを活用する（「MyBest® Scores」は採用しない。）</p> <p>◇ 出願書類提出時に「Test Taker Score Report」のコピーを提出すること。</p>
6	入学検定料 30,000 円	<p>入学検定料は、6頁の「6. 入学検定料の払込方法」を参照の上、コンビニエンスストア又はクレジットカードで払い込むこと。払い込み後、自ら印刷した「収納証明書」を入学検定料収納証明書貼付台紙の所定欄に貼付すること。ただし、海外からの出願者は、入学検定料を払い込む前に、教務課入学試験係に事前連絡すること。</p> <p>本学大学院研究科博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学検定料は不要。</p> <p>なお、他大学大学院から出願する国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」の原本を提出すること。</p>
7	類型該当性の自己申告書(所定用紙)	<p>本学工学研究科ホームページに掲載する所定用紙（「類型該当性の自己申告書」(様式1)）に該当結果を記入し、提出すること。</p> <p>類型①～③のいずれかに該当する場合のみ、別紙フローチャートも併せて提出の上、海外機関の奨学金の受給通知等も提出すること。</p>
8	(外国人のみ) 「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し(原本)」	<p>「住民票の写し」は在留資格、在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）。なお、「住民票の写し」を提出する場合は、マイナンバーの記載がないものに限る。</p> <p>海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し、入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。</p>
9	【在職者のみ】 受験承諾書 (所定用紙)	<p>所属の長等が証明したもの。</p> <p>本研究科ホームページから所定用紙を印刷すること。</p>
10	受験票送付用封筒 (所定用紙貼付)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、各封筒に貼付すること。
11	可否通知用封筒 (所定用紙貼付)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、各封筒に貼付すること。
12	入学手続通知用封筒 (所定用紙貼付)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外在住者は提出不要。 ・所定の封筒貼付用紙に住所及び氏名を記入し、各封筒に貼付すること。

5. 出願手続

出願者は、入学検定料を納入のうえ、2026年1月16日(金)[当日消印有効]までに、上記出願書類等を本学工学研究科ホームページに掲載する出願書類一式内の「出願書類送付用封筒貼付用紙」をカラーで印刷し、当該用紙を貼付した角型2号の封筒に入れ、願書受付期間内に郵便局窓口にて簡易書留速達郵便により、工学研究科教務課国際連携専攻入試担当宛に郵送すること。（提出方法は郵送に限り、1月17日(土)以降の消印のものはいかなる事情があっても受け付けない。）

なお、海外からの出願者は、出願期間前に教務課国際連携専攻入試担当に事前連絡を行うこと。

〔郵送先〕

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科教務課国際連携専攻入試担当

◎注意

- (1) 志願者は出願前に志望指導教員に事前照会すること。なお、照会先は8頁の13. (2)を参照すること。
- (2) 書類に不備がある場合には、受け付けないことがある。
- (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。
- (4) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
- (5) 出願に際して不明な点は、8頁の「13. 入試関係照会先」まで問い合わせること。

6. 入学検定料の払込方法

- (1) 検定料 30,000 円

別途、払込手数料(最大で 1,300 円)が必要となる。

- (2) 払込期間(日本時間)

2025年12月25日(木)10時 ~ 2026年1月16日(金)14時59分

入学検定料の収納証明書を貼付した出願書類は、「3.」の願書受付期間内に提出が必要となるので、注意すること。

- (3) 払込方法

入学検定料の支払いは、以下のいずれかの方法で行うこと。

詳細については、9頁「コンビニ・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を確認すること。

- ア) コンビニエンスストア(日本国内のみ)
- イ) クレジットカード

- (4) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は志願者負担とする。

- ア) 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- イ) 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※ 入学検定料の返還は銀行振込で行う。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するので、入学検定料の納入は慎重に行うこと。

※ 返還請求方法については

名古屋大学 受験生応援サイト(<https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/>)

→ 「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払い」を確認すること。

※ 検定料返還を受ける場合は、2026年2月27日(金)までに、工学部・工学研究科教務課入学試験係まで申し出る。返還金の振込には手続きから約2~3か月を要する。

7. 選抜実施方法及び試験日程

専門領域の研究遂行にふさわしい基礎的知識、理解力及び語学力について、出願書類による書類審査及び口頭試問により選抜を行う。

- (1) 日時・場所

2026年2月中に実施する。詳細は別途専攻から連絡する。

場所: 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科

- (2) 方法

筆記試験・口頭試問又は、いずれか一方により行う。

筆記試験の科目は、外国語(英語)、基礎部門、専門部門とする。

外国語(英語)については、英語検定試験スコアにより判定する。

なお、最終学歴について英語を主要言語として修了した者は、口頭試問において総合的に英語能力を判定する。

- (3) その他

試験日時・具体的な場所など選考に関する詳細は、専攻から別途出願者へ通知する。

8. 合格発表

2026年3月5日(木)正午

本研究科ホームページに掲示するとともに合否結果を本人宛に通知する。

9. 入学手続

入学手続に関する詳細については、合否結果通知時に併せて通知する。

合格者の内、入学を希望する者は、2026年3月中旬までに所定の手続きを郵送により行うこと。

10. 授業料等学生納付金

(1) 入学料 282,000 円〔予定額〕

入学手続時に納付すること。

ただし、本学大学院博士前期課程(修士課程)を修了し、引き続き本課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料を要しない。

(2) 授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)〔予定額〕授業料は、前期及び後期の2期に分けて納入する。

また、納付については、授業料口座振替(代行納付制度)により取り扱う。

ただし、国費外国人留学生は、授業料を要しない。

(注1) 入学手続完了後は、納付済みの入学料は返還しない。

(注2) 入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな学生納付金額が適用される。

11. その他注意事項

(1) 障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、2025年12月19日(金)までに、8頁の「13. 入試関係照会先」まで申し出ること。

なお、修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(2) 出願後に、志願票及び返信用封筒に書かれた住所、電話番号、Eメールアドレスを変更した場合は、速やかに8頁の「13. 入試関係照会先」まで連絡すること。

(3) 工学研究科及び志望専攻の概要・入試情報等については、本研究科ホームページを参照すること。

URL <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

(志望専攻の概要) <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/dept/index.html>

(入試情報) <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/graduate/admission.php>

(4) 名古屋大学(東海国立大学機構)では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」(以下「規程」という。)を定め、貨物の輸出、技術の提供(人の受入を含む)について厳格な審査を実施している。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがあるため、留意すること。詳細については、以下のウェブサイトを参照すること。なお、該当者には、個別に通知する。また、この場合も既納の検定料は返還しない。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

(5) 災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

工学研究科ホームページURL <https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/>

12. 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報及び出願書類に記載された研究経過の概要等については、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項や入学予定者向けイベントの周知等にものみ利用する。取得した個人情報は適切

に管理し、これらの利用目的以外には利用しない。

13. 入試関係照会先

(1) 入学試験全般に関する照会先

名古屋大学工学部・工学研究科教務課(東山キャンパス ES 総合館3階)

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町

E-mail : eng-admission(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp

(at)を@に換えてください。

(2) 志望指導教員事前照会先

E-mail : officemate(at)material.nagoya-u.ac.jp

(at)を@に換えてください。